

J P S
北九州

報 会
日本郵趣協会
北九州支部
平成30年 11月10日
第 344 号

新 昭 和

第 一 次

2 円 清 水 寺 1946.12.1 発行



白紙



灰白紙



Pos.77 左大魚根右に線線

5 円 金 魚 1946.11.15 発行



白紙



灰白紙



灰白紙・糊付き



灰白紙・糊付き・淡色

提 供 : 橋 本 たねひろ 氏

第一次新昭和切手 2 円及び 5 円の収集

橋本たねひろ

新昭和切手 2 円「清水寺」は、書留、訴訟書類や為替など単位額面用として昭和 21 年 12 月 1 日発行され、白紙と灰白紙昭和透かしがあり、狭透かしはない。

刷色は濃淡はあるものの朱色で比較的安定しており、銘版も右書「印刷局製造」のみで、楽しもうとすれば複数存在する版別収集をするか、定常変種を探すくらいで、未使用では結構苦勞するかも知れない。

ダブルプリントや裏写りがあるので、これらを含める手もある。

さくら日本切手カタログもただ 1 種掲載されているだけの、寂しい切手であるが、京都切手展記念小型シートが同図案で昭和 22 年 8 月 19 日発行されており、定常変種も 2 種確認されているので、これらでリーフを埋めることもできる。

この切手は単位額面のため消印の種類が多いので、むしろ使用済みの収集が面白いと思うが、他の切手同様この時期の消印は汚いものが多く、読めるものを探すにはそれなりに苦勞するはずである。

次の 5 円「金魚」も単位額面用として昭和 21 年 11 月 15 日発行され最初は裏糊なしで、昭和 22 年 2 月からは裏糊有りとなっているので、さくらカタログでも裏糊の有無でそれぞれメインナンバーを与えており、糊無しには白紙と灰白紙があるので、単片収集では 3 種となる。

糊無しの灰白紙は少なく、単片ならば入手できると思うが、高い切手だけに糊有りの糊を落とした変造品もあるので、信用できる業者などから入手したほうが無難である。

初期使用は為替以外ほとんどなく、昭和 22 年 4 月 1 日料金改正以後エンタィアが増えるが、消印別収集はひとつとおり存在するものの、他の切手同様苦勞するだろう。